

KUUDE: Dept. of

Scenography, Space,
Fashion, Interior
and Environmental
Media Design
Musashino Art
University

2024

武蔵野美術大学

空間演出デザイン学科2024

MAU

What is KUUDE?

空間で人を幸せにする。
独自の感性と協調性を伸ばし、
情熱を持って空間を
つくりあげる人材を育成。

本学科は、セノグラフィ、インテリアデザイン、環境メディアデザイン、ファッションデザインの4コースがあり、舞台や店舗、住居、衣服など扱うものはさまざまですが、「人を幸せにしたい」という想いは共通しています。

空間をデザインするには、日常の生活から、まだ見ぬ世界にまで好奇心をもつことが必要です。時代を肌で感じて、日頃から美しいものに敏感になることで、表現のストックが増えていきます。そして個々の感性が集結し、大勢の人と共有して、初めて空間は完成します。

空間演出デザイン学科は、独自の感性と協調性の両方を伸ばし、情熱をもって空間をつくりあげるデザイナーを育てたいと考えています。

4コースが重なり、
想像力を広げる
自由自在なカリキュラム。

各コースが相互に交差して影響しあうカリキュラムで、多様な造形表現と個性溢れる発想をともなった空間演出に携わる人材育成を目指しています。

1、2年次では、実習授業を通して身体を軸に基礎的な造形力や見立てによる空間造形と演出法を学び、各自が自由な道のりを選択して表現の独自性を追求します。3年次以降は専門領域に分かれ、個性豊かな専門性を養います。

1年次 p.04
「構想力・空間的造形力など
想像と創造についての基礎」
を学ぶ

2年次 p.06
「空間デザイン(演出)について
の教養と技術、表現」独自性
を培う

3年次前期 p.08
「4つの専門的領域の基礎」を
学ぶ

- セノグラフィ
- インテリアデザイン
- 環境メディアデザイン
- ファッションデザイン

3年次後期+4年次 p.10

8名の教授によるゼミナール

- 太田ゼミナール
- 池田ゼミナール
- 五十嵐ゼミナール
- 片山ゼミナール
- 鈴木ゼミナール
- 安藤ゼミナール
- ライアンゼミナール
- 津村ゼミナール

武蔵野美術大学造形学部 空間演出デザイン学科とは？



1年次カリキュラム

「空間を創造、デザイン（演出）すること」を学ぶためにはまず、想像し創造する人としての姿勢を、身体経験を通して学ばなければなりません。その姿勢とは、創造者として必要な教養・技術・思考方法を学ぶことでしか形作られません。1年次は、各専門的領域からの視座ではなく、「素材と空間」の実習、多岐にわたる芸術表現を具現化する実習、基礎製図・座学講義などを通じて、それらを総合的に学び、「想像し創造する人間の姿勢とは何か」を発見することに重点を置いています。

デザイン基礎Ⅰ

『紙と再現』

fig.01

鈴木 康広教授、津村 耕佑教授、北川 陽史准教授ほか

素材の性質や特性を実践を通して体験する、空間演出デザインの基礎となる授業です。この授業では、単一素材（ダンボール）による徹底した「再現」を行います。素材の特性や加工の可能性を自らの手で探る感覚を養います。また、再現のために必要となる観察力を磨いていきます。

デザイン基礎Ⅱ

『体験と実習』

fig.02

池田 ともゆき教授、五十嵐 久枝教授、パトリック・ライアン教授ほか

素材に着目した思考や実践をワークショップ形式で学ぶ授業です。作品の完成を目指す授業ではなく、プロセスを重視した内容となります。4名の教員が1週間ごとにクラスを移動してワークショップを行い、素材を捉える多様な視点に触れ、表現における素材の機能や意味を学びます。

デザイン基礎Ⅲ

『布と自立性』

fig.03

太田 雅公教授、安藤 北斗准教授ほか

衣服制作の習得ではなく、デザインの基礎として布を扱う授業です。布というやわらかな素材を使って、「自立」をキーワードに布の構造や形態の意味を学びます。布と向き合い、多角的な視点から素材の性質や構造を理解していきます。

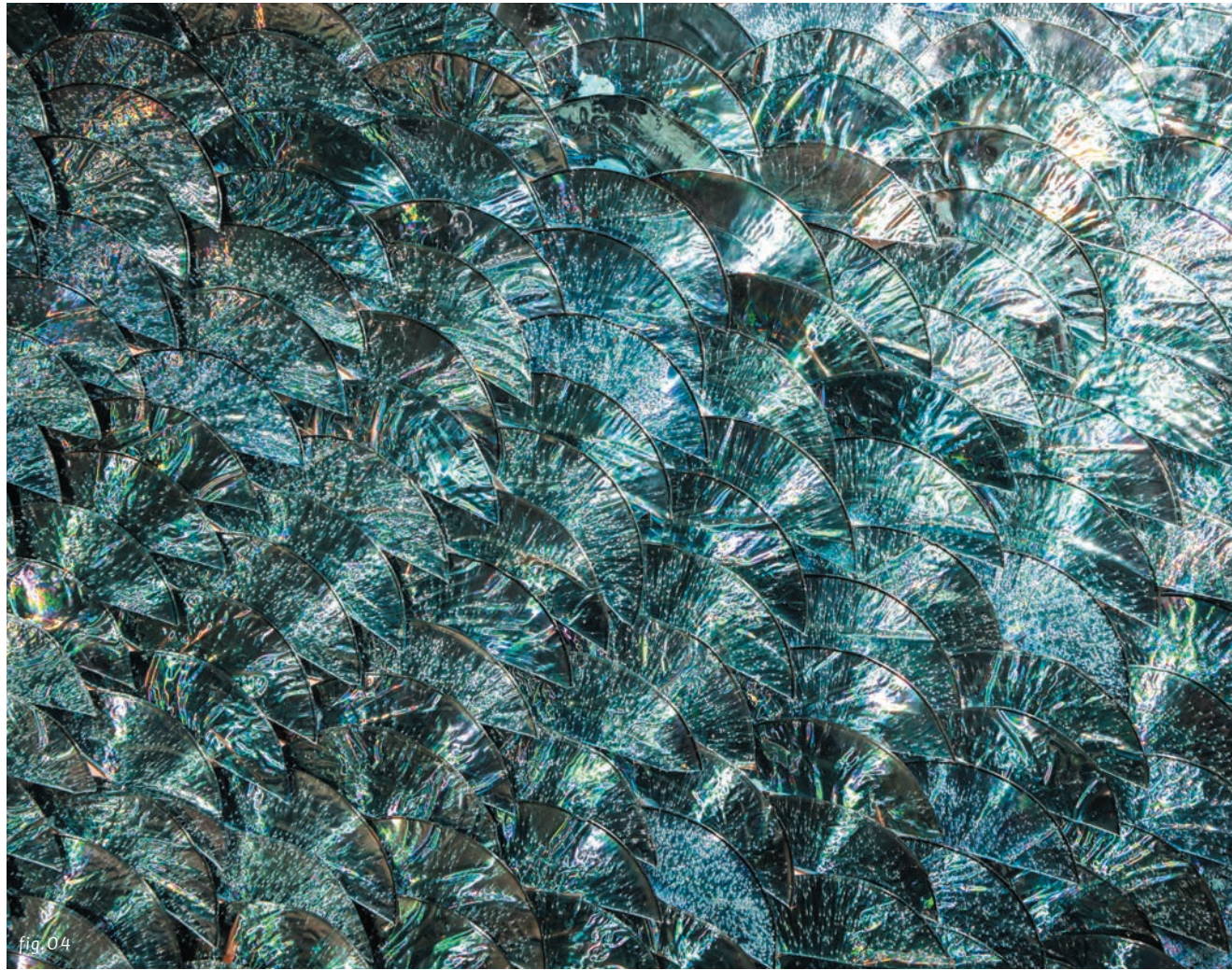
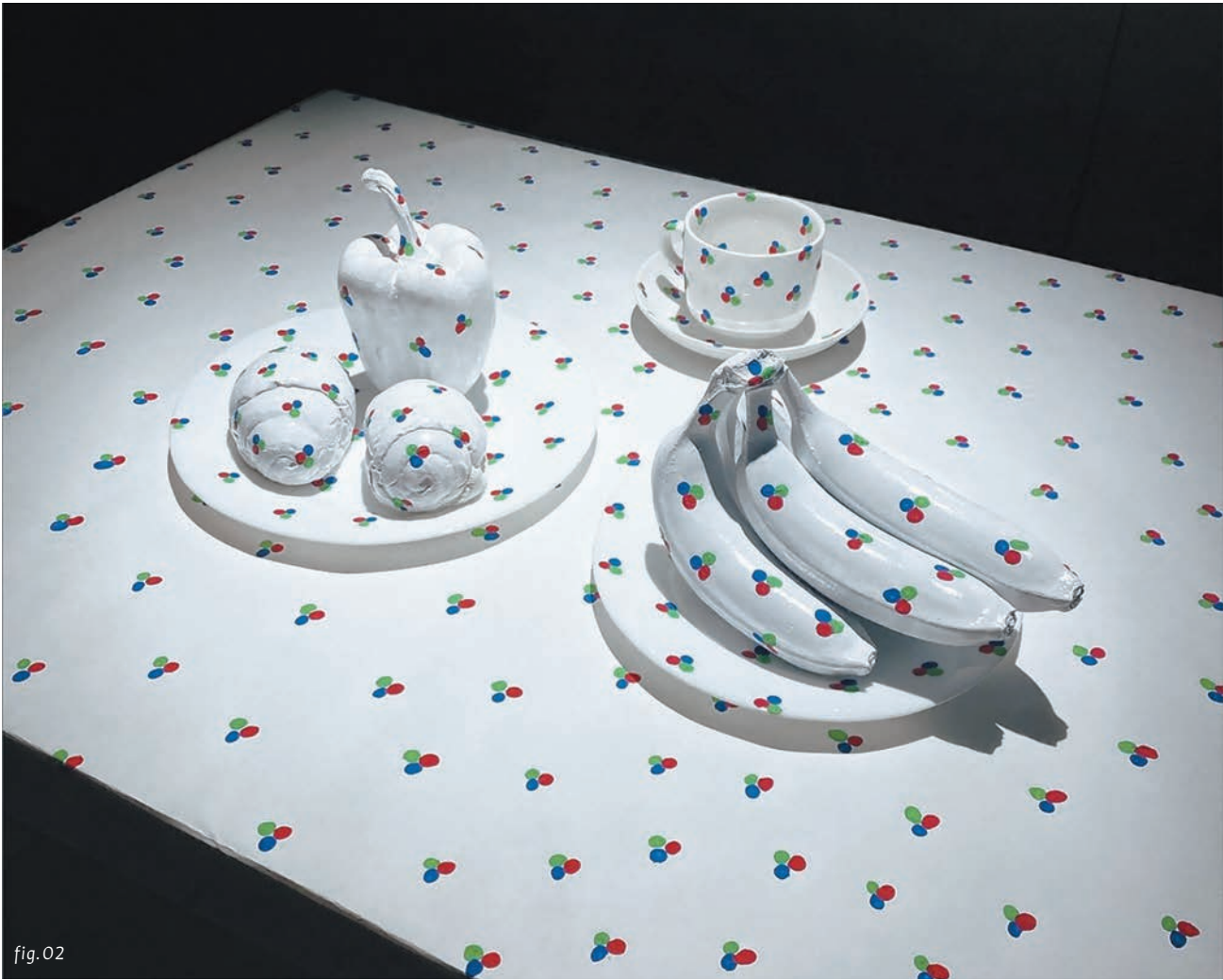
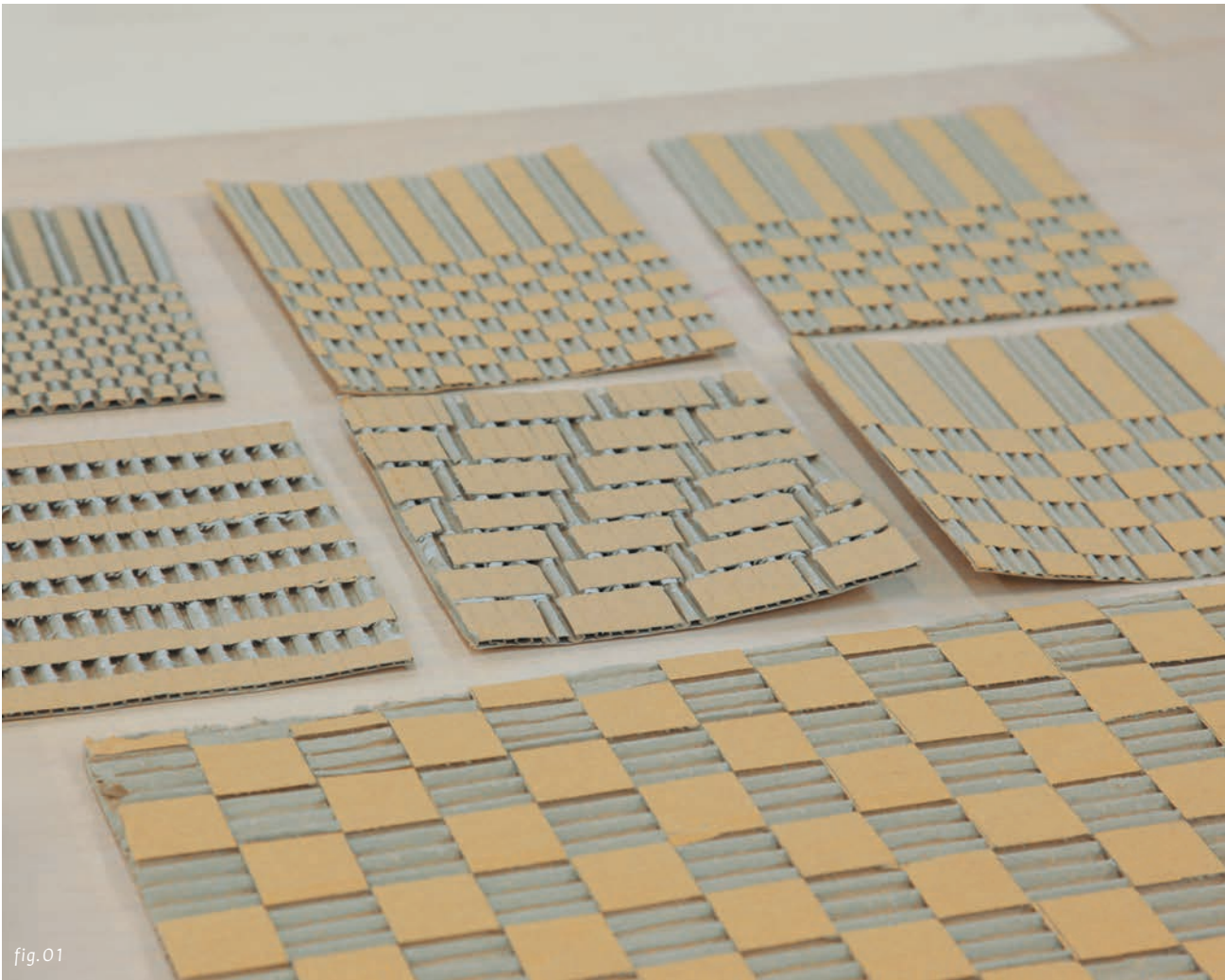
デザイン基礎Ⅳ

『表現1（選択）』

fig.04

太田 雅公教授、池田 ともゆき教授、北川 陽史准教授ほか

4種の表現の講座の中から興味のある講座を選択できます。「空間演出デザイン＝空間をつくるひと」を考察するために必要な教養や姿勢、発想を学びます。今後、各自がさらに学ぶべき課題と表現領域を発見することを目標としています。



2年次カリキュラム

前期は、1年時に培った「想像し創造する姿勢」を持ち、より積極的に作品を作るために、多様な専門領域の教員を選択することが可能なカリキュラムとなっています。後期には、「見立て」と「影」をテーマにした空間演出実習課題や、キャンパス内の空間を使用した環境照明実習課題など、今後重要なメディアになるであろう「照明効果」を実習することで「空間演出と明暗・陰影」についての考察を深めます。また、これらの課題は小規模なグループによる課題とされ、共同制作における個人の表現方法についても体験し学ぶこととなります。そして、2年次の最終課題は、各々が各専門領域の指導教員を選択し、設定されたテーマに基づいた指導のもと制作した作品を展覧会形式で発表します。

空間演出デザインⅠ～Ⅲ

『表現2～4(選択)』 fig.05-08

太田 雅公教授、池田 ともゆき教授、五十嵐 久枝教授、鈴木 康広教授、津村 耕佑教授、北川 陽史准教授ほか

4つのコースから自由に選択できます。

空間演出デザインⅣ

『表現5(光と影)』 fig.09

池田 ともゆき教授ほか

「身体とメディア」をテーマとした立体表現の実習です。実在する物質と実在しないイメージの世界の関係を体験するために、空間における時間的な造形を考えます。そのためには、光を媒体として動く造形表現を追求し、時間を組立てる手掛りとして、3分ほどの短いストーリーを考え、シーン変化を考える実習を行います。

実材実習Ⅰ

『表現6(環境照明)』 fig.10

池田 ともゆき教授、吉本有輝子客員教授、岡本 賢先生(非常勤講師)、原田 武敏先生(非常勤講師)、山下 裕子先生(非常勤講師)

実材実習Ⅱ

『表現7(選択)』 fig.11-14

太田 雅公教授、池田 ともゆき教授、五十嵐 久枝教授、鈴木 康広教授、安藤 北斗准教授、パトリック・ライアン教授、津村 耕佑教授、北川 陽史准教授ほか

共通するテーマを設定し、構想から制作までの空間構成実習を行います。公開を前提とした空間表現を追求します。



fig.05

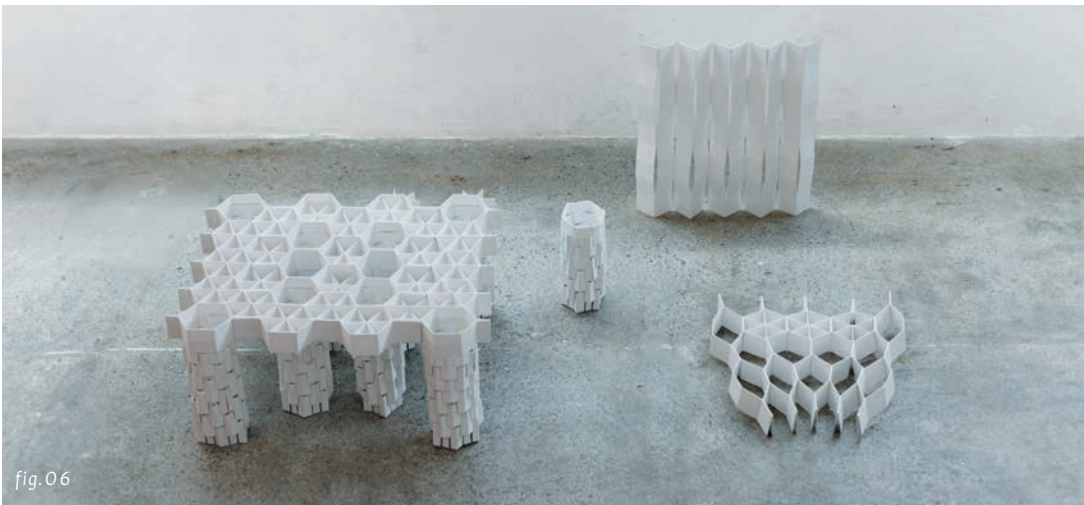


fig.06



fig.07



fig.08

「空間デザイン(演出)についての教養と技術、表現」独自性を培う



fig.09

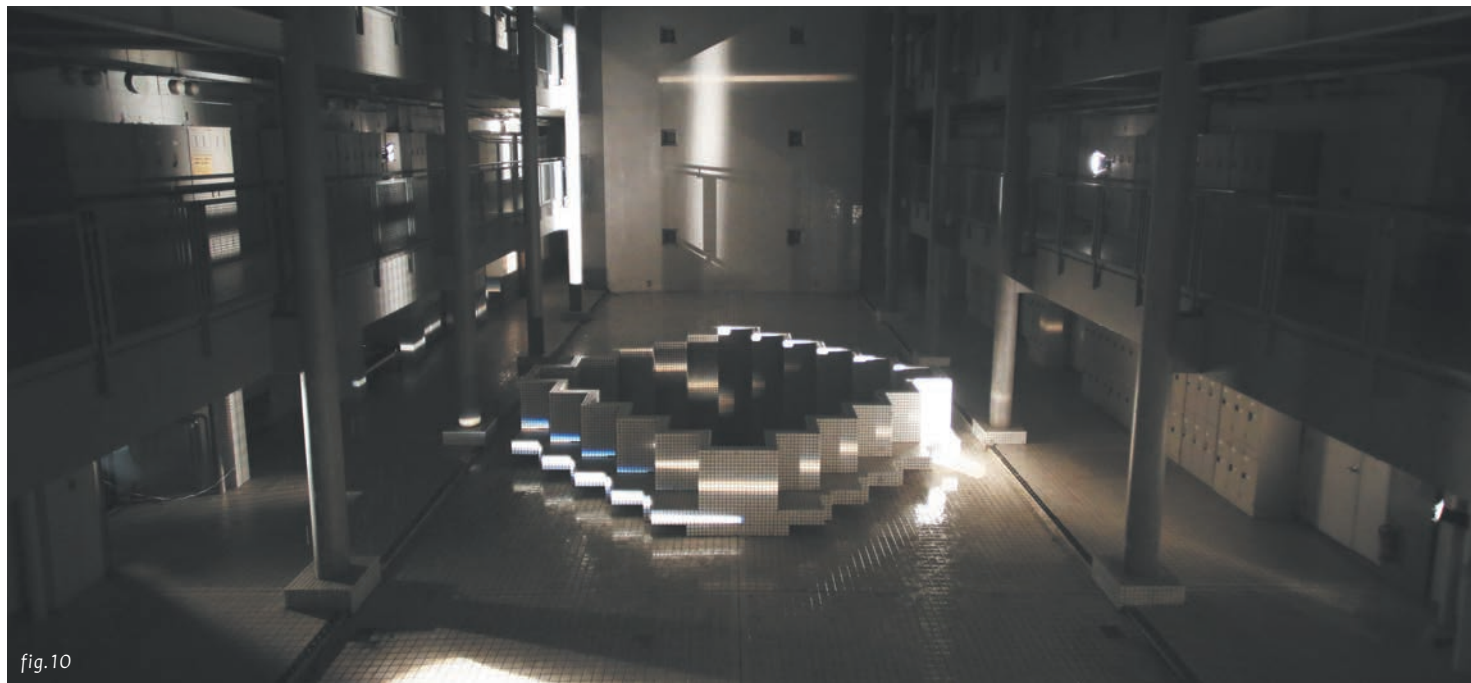


fig.10

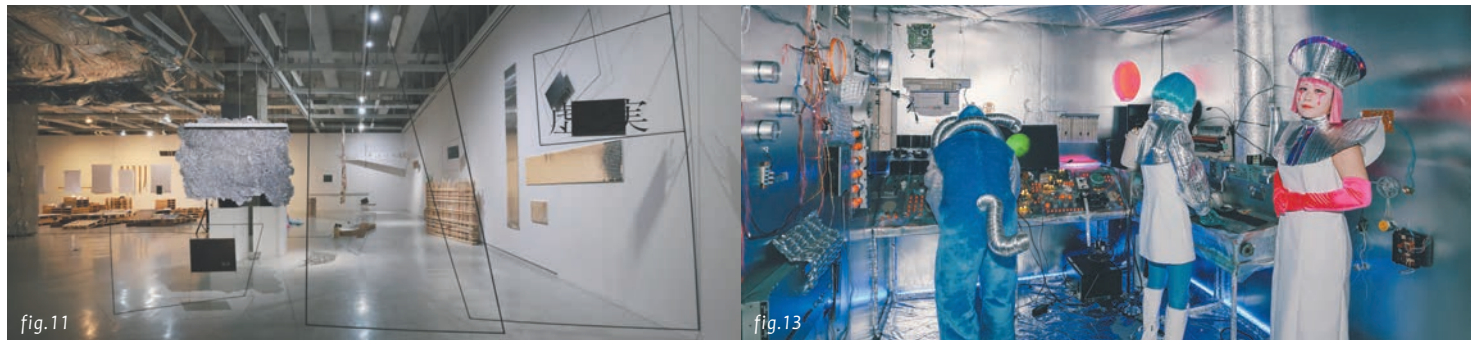


fig.11

fig.13



fig.12

fig.14

3年次カリキュラム

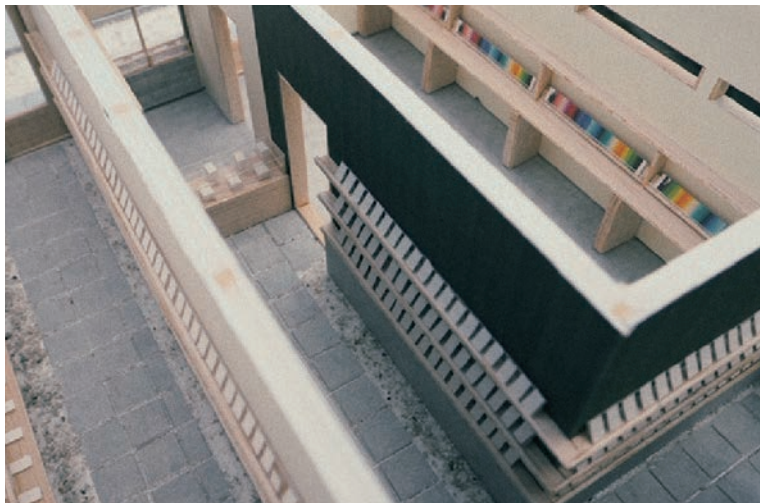
各個人が卒業までに取り組むべき専門領域を明確にするために、各領域の専任教員が用意する課題を選択します。異なる領域を選択し多くの視点と多種多様な思考を得ることも、同じ系統をじっくり深く学ぶことも可能です。コースによって随時、舞台公演や公開展示を行いながら、より実践に近い姿で社会へ分け入るリアルな創造性を試します。

Scenography**セノグラフィコース**

太田 雅公教授、池田ともゆき教授ほか
セノグラフィコースは、主に舞台芸術（装置、衣装）に関わる空間表現を学び、また、映像美術、ディスプレイ、イベントなどの企画、制作、運営も学ぶことが可能なコースです。

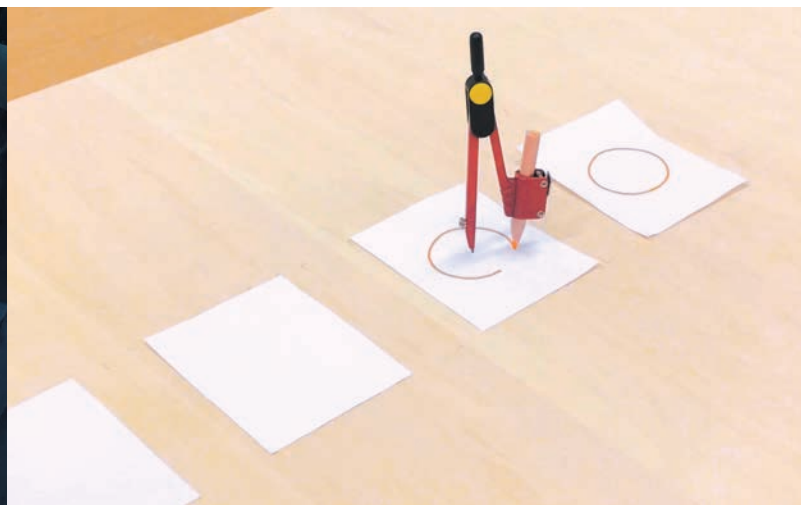
**「4つの専門的領域の基礎」を学ぶ****Interior Design****空間1（インテリアデザイン）コース**

五十嵐 久枝教授、片山 正通教授ほか
実在可能なショップやパブリックスペースなどのデザインを軸に、スケール感を養い、さまざまな素材と表現方法を学び、環境と人とモノとの関係のあり方を時間軸に捉われない自由な発想で探ってゆきます。模型から原寸サイズまで思考と体験を行き来しながら、リアルで魅力あるデザインを目指します。

**Environmental Media Design****空間2（環境メディアデザイン）コース**

鈴木 康広教授、安藤 北斗准教授、北川 陽史准教授ほか

光、音、風などの自然現象や社会的・文化的な慣習など、何げない日常の中に目に見えないさまざまな関係性が見出せます。それらをつぶさに観察し、ものづくりの視点に取り入れ、時には日常を変容させることで、人間と環境との新たな関係を構築します。生活に欠かせない機能からのアプローチ、特別な体験を重視するインスタレーションなど、幅広い手法によって具現化していきます。

**Fashion Design****ファッションデザインコース**

パトリック・ライアン教授、津村 耕佑教授ほか

コンテンポラリーなライフスタイルを念頭に置き、ファッションショーや広報など、トータルな知識と技術、プロデュース能力を養います。衣服を中心に、それを取り巻く文化の活性化や継承、都市や情報の環境などに関する多様な研究と制作を展開します。



4年次カリキュラム

3年次後期からは、各教授が主宰する8つのゼミナールへ進みます。各専門領域でのより多様な表現への試みを繰り返し、最終的な成果としての卒業制作に取り組みます。

Scenography	
OTA Seminar	舞台芸術（美術造形と衣装）と空間構成の3つの軸（舞台公演、ディスプレイ、ヘア・メイク）のデザイン制作、展示、広報を行いプロフェッショナルな視点を得る。総合芸術において、他者とのコラボレーションを通して新たな発見や視点を見つけ、より高度なクリエーションを実現することを目指します。
IKEDA Seminar	舞台芸術とは、限られた時間にしかそこに存在しない空間と時間を生み出すアートであり、それらをデザインすることは人類の歴史と重なります。そう、太古の昔、あなたの祖先が火を囲み、祈り・歌い・踊った身体と空間は、今のあなたにつながっているということなのです。イケトモゼミは、そんな「思索」を「試作」することに重点を置き、「観ると観られる」「物語」などをテーマに「劇的な空間とは何か」の研究を進めます。
Interior Design	
IGARASHI Seminar	「ムサビキャンパス」というリアルな環境の中で、縮尺スケールと原寸を行き来し、実物大の空間製作・体験から五感に訴える空間デザインについて考えていきます。多角的な視野、思考、発想を求め、取り組む課題は、個人ワーク（インテリアデザイン）とグループワーク（インスタレーション）を行い、4年生では各々が自身の「年間テーマ」を卒業制作まで継続して研究していきます。
KATAYAMA Seminar	架空のプロジェクトを想定し、インタラクティブでリアルなケーススタディーを実施。現役クリエイター／プロデューサーをクライアントとしてゲスト講師に迎え、リサーチ／コンセプトワーク／デザイン／プレゼンテーション、それぞれの段階で学生1人1人との対話を通し、デザインにおけるコミュニケーションの本質を探り、アイデンティティーの確立を目指す。
Environmental Media Design	
SUZUKI Seminar	生活の中で見過ごしている事象や、ふとした時に感じられる微かな違和感の中に、世界の見方を変えるヒントが潜んでいると考えています。ゼミでは、日常の身近な環境から、未だ認知されていない社会課題まで、目に見えない不確かなものにかたちを与える方法を探求していきます。対話を通して、今後さまざまなかたちで社会と接していく学生のビジョンをともに具現化していきます。
ANDO Seminar	安藤ゼミでは「デザイン・オルタナティブ」、つまりデザインが社会に提供する視点や価値に着目し、未来の潮流を創出します。そのためには自然環境と社会環境のリサーチや、インプットとアウトプットの反復、頭と手での思考が不可欠です。個々人がそのスキルを磨きながら、現在進行形のデザインコンテキストを更新する素材や家具、空間づくりに挑戦します。
Fashion Design	
RYAN Seminar	日本の伝統的なライフスタイルは、制限されたフォーマットの範囲内のデザインソリューションがすべてだと思う。また、規範の中で創造しておきながら、時に簡単にそれを壊し新しい物を作り出す力がある。9人の様々な教授が、デザイン規則を厳守しつつ、同時にそれを壊す。それによって新しく楽しいアートを作り上げている所が空デだ。
TSUMURA Seminar	幻想と現実、常時と非常時、 相反する状況の体験を通じて新たなヴィジョンへ接続する為の課題の発見とアクション！ 根源を見つける為に現実を拡張させます。 「着るの拡張、編むの拡張、繋げるの拡張」



『隣の芝生は青いのか』谷口 菜広 太田ゼミナール



『層』田口 千晴 池田ゼミナール



『雨日和』 福田 すず 五十嵐ゼミナール



『Blurred image, alive (F) .』 宮本 日向子 鈴木ゼミナール



『TSUI BISCUITS』 バリコウジュン 片山ゼミナール



『大蔵山へのリサーチトリップ』 安藤ゼミナール



『Obscurity「不明瞭さ」』 オチエヒョン ライアンゼミナール



『Heim』 神田 愛子 津村ゼミナール



『Stimulationー癒しをもたらす造形、触感、空間の研究ー』 ホウイテイ (担当教員：津村 耕佑)



『CITY POOL』 ダンシン (担当教員：パトリック・ライアン)



『かみさまを殺すための旅「やさしいおうちやさん」』 結城 真央 (担当教員：池田 ともゆき)

Professors

太田 雅公

衣装デザイナー

衣裳、テキスタイル、ヘア・メイクのデザイン等を、フランス、オーストリア、アメリカ、カナダ等で手掛けている。オペラ『TEA: A Mirror of Soul』作曲：タン・ドゥン、演出：宮本亜門（サンタフェオペラ・アメリカ / パンクーパーオペラ・カナダ）や、『Lady Sarashina』作曲：ベーテル・エトヴェシュ、演出：天児牛大、セットデザイン：中西夏之（リヨン国立歌劇場・フランス）でフランス批評家協会最優秀作品賞受賞、オペラコミック座、ポーランド国立歌劇場等で活動。演劇の近作では『マーキュリー・ファー』、『ジャンヌダルク』、『お勢登場』、『お勢断行』、劇団四季『バケモノの子』等。

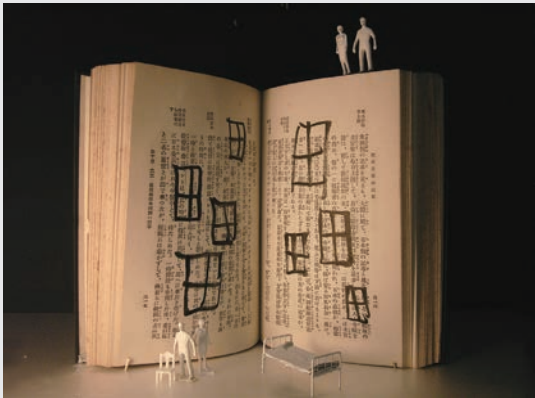
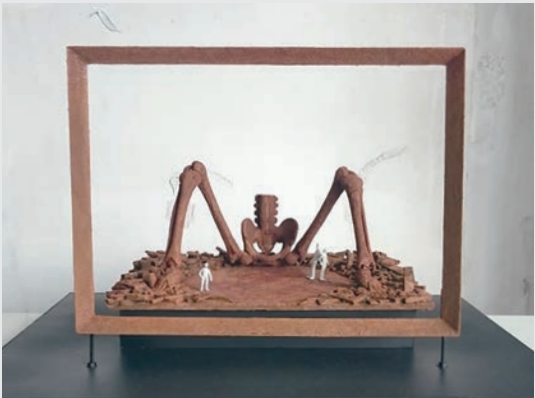


撮影：阿部薫仁 © 2015 THE BOY AND THE BEAST FILM PARTNERS

池田 ともゆき

舞台装置家

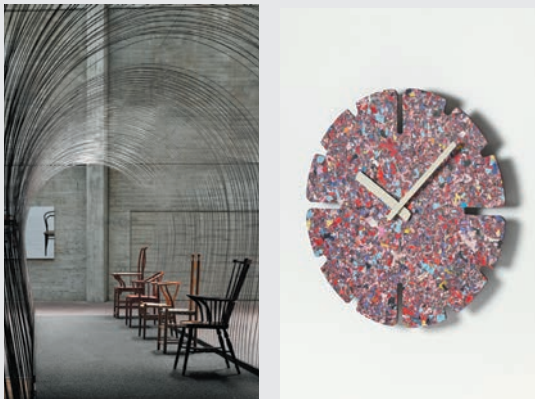
武蔵野美術大学芸能デザイン学科卒業後、在阪百貨店にディスプレイデザイナーとして勤務。並行して、舞台装置家としての活動を開始し、TANC! 池田意匠事務所設立。1999～2000年文化庁在外研修員として英国、セントラル・セントマーティン大学院舞台美術コースに留学。現在まで小劇場・新劇・ミュージカル・プロデュース公演・オペラなど600作品を超える舞台空間をデザインしている。



五十嵐 久枝

インテリアデザイナー

1986-1991年クラマタデザイン事務所在籍。1993年イガラシデザインスタジオ設立。場や人の持つ関係性と可能性から創造するさまざまな施設のインテリアデザインと家具・遊具等プロダクトデザイン、関わる分野は多岐にわたる。主な近作、武蔵野美術大学ゼロスペース、横浜そごう、PEACH JOHNオフィス、EIMEI PRESCHOOL、TSUMORI CHISATO、AGITA、PANECO PROJECTなど。グッドデザイン賞、キッズデザイン賞、CSデザイン賞、JIDデザインアワード、日本空間デザイン賞等受賞。



片山 正通

インテリアデザイナー

2000年ワンダーウォールを設立。クライアントとビジョンを共有し具現化する自由な発想と、伝統や様式に敬意を払いつつ現代的要素を取り入れるそのバランス感覚が、日本はもとより国際的に高く評価されている。片山の強みは、コンセプトを複合的に構築し、消費者の潜在意識に触れる事で、独創的な環境を構築することである。その活動はインテリアデザインを中心に、建築デザインディレクション、物件開発コンサルティングなど幅広い分野に渡り活躍している。



鈴木 康広

アーティスト

映像インスタレーション作品『遊具の透視法』（'01）がNHKデジタル・スタジアムで年間のグランプリを受賞。アルスエレクトロニカ・フェスティバルをはじめ国内外の多数の展覧会やアートフェスティバルを巡回。『まばたきの葉』（'03）、『空気の人』（'07）、『ファスナーの船』（'10）など、美術館のみならず公共空間へ展開する創作を続けている。主な個展として、水戸芸術館「近所の地球」（'14）、箱根 彫刻の森美術館「始まりの庭」（'17）など。第4回モスクワビエンナーレ（'11）出展、第1回ロンドン・デザイン・ビエンナーレ（'16）日本代表。2014毎日デザイン賞受賞。作品集『まばたきとはばたき』『近所の地球』（青幻舎）を刊行。



photo: Katsuhiko Ichikawa
Courtesy of SPIRAL/Wacoal Art Center



"Setouchi Triennale 2010"



photo: Keizo Kioku / courtesy: 21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa

空デ9名の教授と、それぞれの代表的なプロジェクト

安藤 北斗

デザイナー

コンテンツコラボレーションスタジオ「we+」共同主宰。武蔵野美術大学を経て、セントラルセントマーティンズ美術大学（英）卒業。リサーチと実験に立脚したオルタナティブな手法から生まれた自主プロジェクトを国内外で発表するほか、R&Dやインスタレーション、ファニチャーデザインなど幅広くコミッションワークを手掛けている。Dezeen Awards / Emerging Design Studio of the Year / Public Vote（英）、Wallpaper* Design Awards / Best Elements of Surprise（英）、EDIDA / Young Designer of the Year / Nominee（伊）等受賞多数。iF Design Awards（独）、D&AD Awards（伊）審査員。作品はVitra Design Museum（独）に永久収蔵されている。



"Refoam" Photo: Masayuki Hayashi



Shiseido

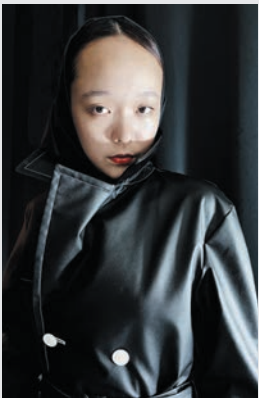


"Drought" Photo: Masayuki Hayashi

パトリック・ライアン

ファッションデザイナー

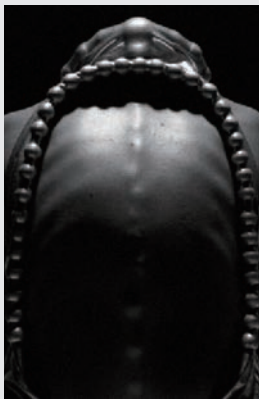
グラスゴー美術学校卒業（スコットランド）、セントマーティンズ美術大学ファッションデザイン科修了・修士号取得（イングランド）、'86年イギリスの伝説のオートクチュールメゾン Jean Muir にてデザイン・アシスタント、'89年KANSAI JAPAN にてチーフデザイン、バーバリー等のブランドコンサルティング、その後独立し'94年セルフブランド「YAB-YUM（ヤブ・ヤム）」立ち上げ。日本でのクリエイションを大事に、流行に左右されない独自の世界観、ユニークな日本であるべき表現をインデペンデントに続けている。



津村 耕佑

ファッションデザイナー

「FINALHOME」ディレクター。究極の家は服であるという考えを具現化した都市型サバイバルウェア「FINALHOME」を考察する。パリコレクション、ロンドンコレクション、東京コレクションなどのファッションショーを通過しながら、デザインやアート、建築の分野を越境した活動を展開。第52回装苑賞、第12回毎日ファッション大賞新人賞、第3回織部賞を受賞。www.kosuketsumura.com



北川 陽史

彫刻家、空間デザイナー、造形家

武蔵野美術大学大学院修了後、空間演出デザイン学科研究室に助手として勤務。助手任期満了後は非常勤講師として造形指導にあたる。大学院在学中より彫刻家、空間デザイナー、造形家としての活動を開始。金属による造形を専門とし、観者の視覚と身体感覚を通して知覚される空間経験の総体を、表現の目的としている。また、この思考が機能を持った空間に展開される時、空間演出デザインの領域に結びつき、幅広くデザイン・施工業務に携わっている。



"in-sight [内望鏡]"



"IART-BOOK 絵画性と複製性" 展

Official Website

公式ウェブサイト

空間演出デザイン学科 ウェブサイト

空間演出デザイン学科のウェブサイトでは、さらに詳しい情報をご覧いただけます。1年次～4年次までのカリキュラムを、授業風景や学生作品の写真を交えながら、詳細に説明しています。また歴代の卒業制作や、学科で所有する専門的な工房・スタジオ、多種多様な教員・講師陣のプロフィールなども紹介しています。ぜひご確認ください！



kuude.musabi.ac.jp

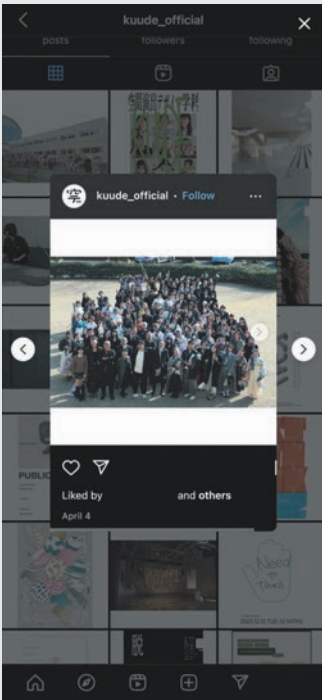


空間演出デザイン学科 Instagram

空間演出デザイン学科のInstagramを新たに開設しました！日々の授業の様子から、先生や学生の関わる展示や舞台、イベントなどの情報を発信しています。リアルやストーリーで動画の投稿も行なっているので、空デをよりリアルに感じて頂けます。ぜひフォローをよろしくお願いします！



@kuude_official



武蔵野美術大学 公式ウェブサイト

大学全体の情報は公式ウェブサイトもご覧下さい。入試に関する情報も、随時更新されています。そのほかにもオープンキャンパスや、大学の芸術祭、武蔵野美術大学 美術館・図書館にて開催中の展覧会のお知らせなど、いまのムサビの様子を知ることができます。

www.musabi.ac.jp



Guest Professors / A Part Time Teachers

客員教授 非常勤講師

客員教授
種田 陽平
面出 薫
吉本 有輝子

非常勤講師
赤羽 祐樹
生駒 芳子
伊澤 美環
トースティー
岩井 勝太郎
KEIKO+MANABU
(内山 敬子・沢瀬 学)
大野 洋平
大山 裕
岡本 賢

片岡 純也
上條 桂子
川上 典李子
川端 将吾
国沢 知海
國時 誠
AtMa
(小山 あゆみ・鈴木 良)
栄山 和
佐藤 昌孝

佐藤 寧子
四方 幸子
清水 悟
鈴木 親
鈴木 莉紗
関口 愛理
月岡 彩
minna
(角田 真祐子・長谷川 哲士)
長岡 勉

根本 育洋
能美 健志
橋本 徹也
長谷部 匡
濱西 恵子
原田 武敏
開田 ひかり
廣川 玉枝
ビューリー 薫 ジェームス
古川 巳代子

山口 宏子
山口 類児
山下 裕子
山田 明良
山本 達雄
YOY (山本 侑樹)
吉田 真実

Special Lectures

学科主宰 課外講座



講義集会 津村 耕佑教授

各分野で活躍するクリエイターや経営者を招き、講義を受けるだけでなく、集会の様に話し合いをもつなかで新たなインスピレーションを得ようという企画です。

- 第 1 回 山川 冬樹
- 第 2 回 八谷 和彦
- 第 3 回 遠山 正道
- 第 4 回 exonemo
- 第 5 回 田中 杏子
- 第 6 回 アレクサンダー・ゲルマン
- 第 7 回 石上 純也
- 第 8 回 甲野 善紀
- 第 9 回 鈴木 康広
- 第 10 回 諏訪 綾子
- 第 11 回 土佐 信道 (明和電機)
- 第 12 回 渡邊 康太郎 (takram)
- 第 13 回 高橋 理子
- 第 14 回 天明屋 尚
- 第 15 回 遠藤 一郎
- 第 16 回 ミーシャ・ジャネット
- 第 17 回 四方 義朗
- 第 18 回 山縣 良和
- 第 19 回 加茂 克也
- 第 20 回 増田 セバスチャン
- 第 21 回 舘鼻 則孝
- 第 22 回 篠原 ともえ



instigator 片山 正通教授

現代を牽引するスタークリエイター、すなわち“instigator”の生の声を聞く事で次世代の“instigator”を作り出す為の超ド級レクチャープログラムです。

- #001 佐藤 可士和
- #002 中田 英寿
- #003 NIGO®
- #004 本広 克行
- #005 藤原 ヒロシ
- #006 名和 晃平
- #007 佐野 研二郎
- #008 VERBAL (m-flo)
- #009 蛸川 実花
- #010 川村 元気
- #011 山口 一郎 (サカナクション)
- #012 小山 薫堂
- #013 真鍋 大度 (ライゾマティクス)
- #014 EXILE HIRO
- #015 大根 仁
- #016 都築 響一
- #017 トータス 松本
- #018 猪子 寿之
- #019 是枝 裕和
- #020 リリー・フランキー
- #021 ホンマ タカシ
- #022 山田 孝之
- #023 ムロツヨシ
- #024 吉田ユニ
- spinout edition
- #001 もいろうクローバーZ+川上 アキラ
- #002 山口 一郎 (サカナクション)
- #003 山口 一郎 (サカナクション)
- #004 山口 一郎 (サカナクション)

Graduates Destinations

空間演出デザイン学科 卒業生の主な就職先

(株)アートフリーク / IIMヒューマン・ソリューション(株) / (有) ICE都市環境照明研究所 / (株)アウトソーシングテクノロジー / (株)アシックス / (株)アックス / (株)アッシュ・ペー・フランス / (株)アディダスジャパン / (株)あとらす二十一 / (株)アレックス / IGARASHI DESIGN STUDIO / (株)イシマル / (株)井田産業 / (株)イデアインターナショナル / (有)伊藤寛アトリエ / (株)伊東屋 / (株)イトーキ / (株)イリア / (株)ウェルカム / (株)内田デザイン研究所 / (株)ACデザイン / (株)エイネット / (株)エドウィン / (株)NHKアート / N.HOOLYWOOD / MCクラフト / (株)遠藤照明 / (株)岡村製作所 / (株)オリエンタルランド / (株)オンデーズ / (株)オンワード樫山 / (株)Casappo & Associates / 学校法人駿台甲府学園 / (株)カッシーナ・イクスシー / (株)角川大映スタジオ / (株)角川ヘラルド映画 / (株)金井大道具 / (株)金子繁孝事務所 / 歌舞伎座舞台(株) / (株)河淳 / CAMPER / (株)木村植物園 / (有)KAPITAL / GUNSROCK / ガンホー・オンライン・エンターテイメント(株) / good design company / (株)グラマラス / (株)グリーンディスペレイ / KROW / 久喜総合歯科 / (有)劇団角笛 / 劇団俳優座研究所 / コイズミ照明(株) / KOIZUMI STUDIO / (株)光潮社 / (株)国際装飾 / (株)コクヨエンジニアリング&テクノロジー / ココネ(株) / (株)コマデン / (株)コムデギャルソン / (株)COMPLEX UNIVERSAL FURNITURE / (株)サイ / SUPPLY / (株)サイバーエージェント / ジーク(株) / (株)JTQ / 四季(劇団四季)(株) / (株)シミスオクト / (株)ジャンスマリー / (株)秀光 / (株)自遊人 / (株)松竹衣裳 / (株)スコープ / (株)スーパーパテ / STELLA McCARTNEY / (株)スペース / (株)スマイルズ / (株)セガ / (株)船場 / (株)綜合舞台 / (株)ソスウインターナショナル / (株)DAIKEI MILLS / (株)大丸松坂屋百貨店 / (株)大和工芸(名古屋屋) / (株)高島屋 / (株)丹青社 /

(株)土屋鞆製造所 / TBSアクト / (株)DNP住空間マテリアル / ディーシーインターナショナル(株) / (有)テラダデザイン一級建築士事務所 / (株)テレビ朝日クリエイト / (株)テレビ東京アート / (株)東急エージェンシー / (株)東京舞台照明 / (株)東京放送 / TOTO(株) / (株)東宝映像美術 / (株)東宝舞台 / (株)トゥモローランド / 凸版印刷(株) / (株)トッパン・コスモ / (有)トネリコ / (株)ドラフト / (株)トランジットジェネラルオフィス / (株)中川政七商店 / (株)21インコーポレーション / (株)ニッポン放送 / (株)日本ステージ / (株)日本テレビアート / (株)ニューバンスジャパン / 任天堂(株) / (株)能作 / (株)乃村工藝社 / (株)ノムラデュオ / (株)バーニーズジャパン / (株)バウハウス丸栄 / (株)白水社 / (株)博展 / (株)博報堂 / (株)長谷工シニアウェルデザイン / パナソニックシステムソリューションジャパン(株) / (株)パナソニックリフォーム / 羽田空港グランドサービス(株) / (株)ハリオグラス / (株)バルコスベースシステムズ / BALENCIAGA / (株)阪急阪神百貨店 / BC工房(株) / (株)卑弥呼 / beautiful people / (株)フロム・ソフトウェア / (株)ファーストリテイリング / ファミリー庭園(株) / (株)45rpm / (株)フジテレビジョン / 文学座付属演劇研究所 / (株)ベイクルーズ / BOTTEGA VENETA / (株)HORIO / (株)三越伊勢丹プロパティ・デザイン / (株)ホンダアクセ / (株)マッシュホールディングス / (株)ミサワホーム / ミズノ(株) / (株)三越伊勢丹ホールディングス / (株)三菱電機照明 / 武蔵野美術大学 / (株)モデュレックス / ユナイテッド&コレクティブ(株) / (株)ヨウジャマモトグループ / (株)ヨーガンレール / 吉忠マネキン(株) / (株)ライティングカンパニーあかり組 / (株)ライティングプランナーズアソシエーツ / (株)LINE / (株)ラックランド / (株)リョウエイティブ / (株)良品計画 / ルイ・ヴィトンジャパン(株) / (株)6D / (株)ワールド / (株)若尾総合舞台 / (株)Wonderwall

発行元: お問い合わせ:武蔵野美術大学 空間演出デザイン学科研究室 TEL:042-342-6065 FAX:042-342-6456 kuude.musabi.ac.jp
【武蔵野美術大学 空間演出デザイン学科 2024】発行日:2024年5月24日 監修:安藤 北斗・北川 陽史 編集:空間演出デザイン学科研究室(永島 聖美・青藤 菜里) デザイン:鈴木 壮一 印刷・製本:株式会社 サン・ブレーン

本書の無断複写(コピー)厳禁を禁じます。
©武蔵野美術大学空間演出デザイン学科2024

